

はままつじょうはっくつつうしん  
浜松城発掘通信

№13

浜松市文化財課 2020年11月7日

## 検討過程の浜松城復興天守閣設計図の存在が明らかになりました

浜松市が進めている浜松城天守閣展示リニューアル事業に関わり、浜松城復興天守閣（昭和 33 年（1958 年）竣工）に関する資料を探索したところ、現在知られる姿と異なる復興天守閣の設計図面の存在が明らかになりました。



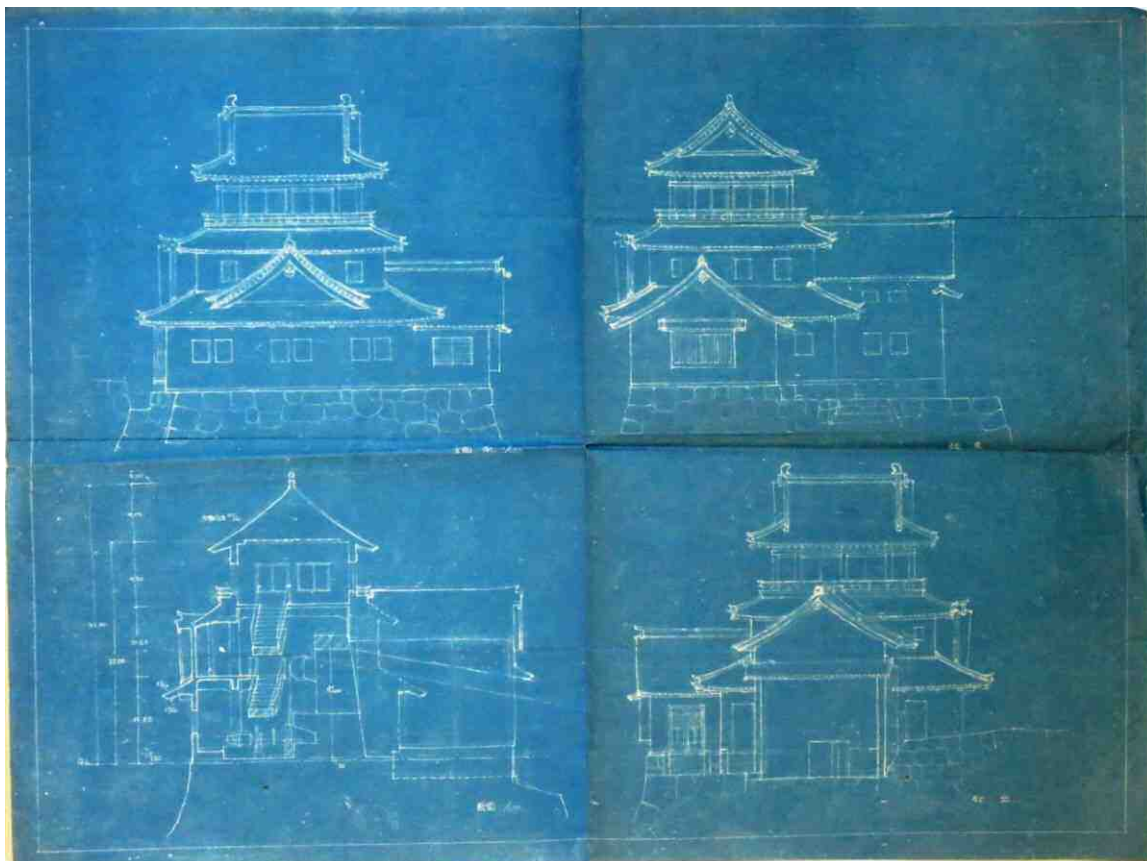
今回発見された設計図等

### 浜松城復興天守閣について

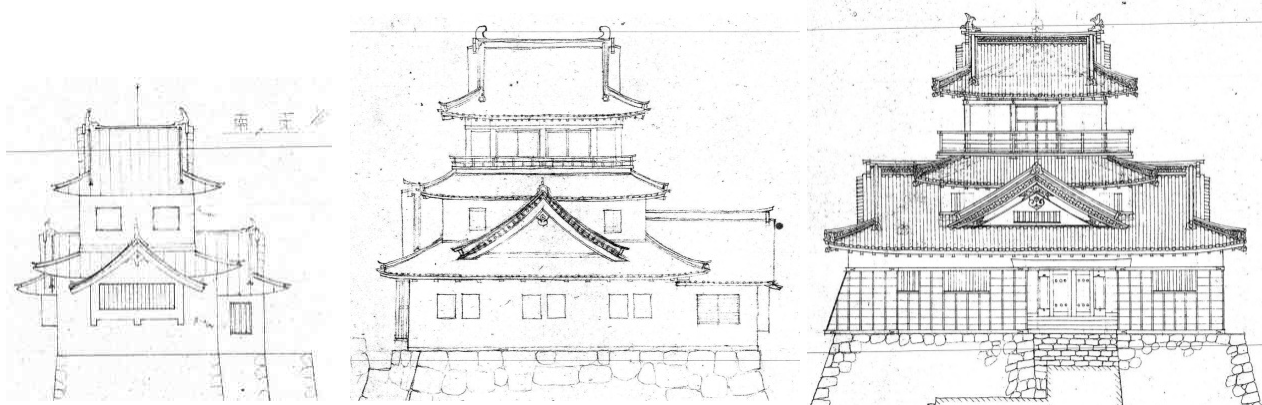
復興天守閣の建設は、市民からの寄付金を募って資金調達する方針とされ、昭和 31 年（1956 年）に浜松城再建期成同盟会が結成されました。復興天守閣は、昭和 33 年（1958 年）に竣工しました。最終案の設計は、城戸久<sup>きとひさし</sup>名古屋工業大学教授が行いました。総工費は約 1,400 万円（このうち市民からの寄付金は約 900 万円）です。

## 新たに存在を確認した浜松城復興天守閣設計図からわかること

今回確認できた設計図は青図と呼ばれる転写図で、2種類みられます。浜松城に天守閣を再建する動きは、昭和30年（1955年）頃から始まり、計画の進行に従って検討を繰り返した過程がうかがえます。復興天守閣の図面は二階建て（高さ9m）と三階建て（高さ13m）の2種。二階建てのものは昭和30年（1955年）に製図されており、天守閣再建計画の初期に製図されたものと捉えられます。一方、三階建てのものは最終案（現況、高さ13m）に近く、外観を検討する際に作成されたものと考えられます。



設計図（設計検討案 縦40cm、横52cm）



浜松城復興天守閣設計図（左:昭和30年案 中:設計検討案 右:最終案（現況））